

平成29年度 第2回テーマ

# 琵琶湖の水環境 水草

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

参加費  
無料

日時

2018. **2.28** (水)  
14:00~15:30

会場

長浜バイオ大学命江館2階  
セミナー室①

(長浜市田村町1266 JR田村駅から徒歩約5分)

定員

30名

## 研究者発表

「水草バイオマスをメタン発酵と微細藻類培養・  
野菜栽培で循環利用：里湖循環型社会形成の  
ための技術開発」

発表者 滋賀県立大学環境科学部 教授 伴 修平 氏

主催

滋賀バイオ産業推進機構

協力

一般社団法人バイオビジネス創出研究会

「滋賀バイオプロジェクト創出サロン」では、研究者や企業から、シブ・ニーズ、事業の方向性などについて発表いただき、気軽な雰囲気での質疑応答を通じた、プロジェクト創出を目指しています。平成29年度のサロンは、持続可能な開発目標（SDGs）を大きなテーマに置き、持続可能な社会を実現するための様々な取り組みのひとつとして、まず身近な地域課題の解決を例に進めていきたいと思えます。

今年度第2回目となるサロンは、第1回に引き続き「琵琶湖の水環境・水草」をテーマに開催します。

琵琶湖の水草対策として、水草を有効活用できる技術の研究について、お話を伺います。ぜひご参加ください。

平成29年度 第2回テーマ

# 琵琶湖の水環境 水草

# 2.28 (水)

## 14:00~15:30

### 講師紹介



**伴 修平 氏**

滋賀県立大学  
環境科学部  
教授

### 要 旨

様々な水域で水生植物（水草）の異常繁茂が環境問題となっていて久しいが、水草は元来、魚介類の生息場所や産卵・育成場所を提供し、水質浄化にも寄与する水域生態系になくはない要素の一つです。もし、水草をバイオマス資源として有効活用する事ができれば、持続的に刈り取り除去することで水域生態系を保全しつつ収益性を担保することができます。我々は、水草をメタン発酵処理によって分解し、発酵液分残渣を微細藻類培養あるいは野菜栽培に利活用するための技術開発を行っています。

お問い合わせ・申込み先

一般社団法人バイオビジネス創出研究会 箕浦・宮川

〒526-0829滋賀県長浜市田村町1281-8長浜バイオインキュベーションセンター内  
Tel: 0749-65-8808 Mail: info@biobiz.jp URL: http://biobiz.jp

**FAX: 0749-65-8858でお申込みください**

## 参 加 申 込 書

申込締切 2/21 (水)

ふりがな 名 前	所属 役 職	
ふりがな 名 前	所属 役 職	
企業・団体名		
住所（〒 - ）		
Tel	Fax	Mail